

# 全労金2024春季生活闘争ニュース・第26号

～勝ち取ろう賃金改善！進めようジェンダー平等！みんなで一歩先のステージへ！～

《合意速報No. 7》

## 近畿労組が金庫との団体交渉で、基本合意を表明しました！

近畿労組は、3月19日10時30分から、金庫と「団体交渉」を開催し、基本合意を表明しました。要求と回答は以下の通りです。

		要 求					回 答						
		正職員 (要求範囲：組合員層)		準職員			再雇用 嘱託職員	正職員 (要求範囲：組合員層)		準職員			再雇用 嘱託職員
		A	B	C	A	B		C					
基本賃金	改善内容	6,000円	9,000円			9,000円	2,000円 ～6,000円	5,000円			1,500円		
	定昇相当額 (実在者平均)	6,000円	2,500円			—	6,000円	2,500円			—		
	合 計	12,000円	11,500円			9,000円	8,000円 ～12,000円	7,500円			1,500円		
最低賃金		時間額1,200円、日額8,800円、月額184,800円への引き上げ					要求通り						
一時金		4.2	4.2	1.68	0.42	0.84 ～4.2	4.2	4.2	1.68	0.42	0.84 ～4.2		
昨年実績		4.2	4.2	1.68	0.42	0.84 ～4.2	4.2	4.2	1.68	0.42	0.84 ～4.2		
安定雇用	無期転換	—	(実現)			—	—	(実現)			—		
雇用環境	私傷病休職	—	(実現)			—	—	(実現)			—		
	育児時短	(小学校3年生まで)				—	(小学校3年生まで)				—		
単組独自要求		—	—	—	—	—	—	—	—	—			

### 《金庫の発言概要》

- 2024春季生活闘争は、物価の上昇や社会保障費の増加による実質的な可処分所得の減少への対応、「人への投資」の実現と企業労使の社会的責任、今後の人材確保と定着化、職員・組合員のモチベーション向上、男女間賃金格差の是正等については、一定理解できるものである。一方、経営を担う立場として、企業を永続的に存続・発展させる責務を負っており、今できる精一杯の回答について、労組として総合的に判断いただいたものと受け止めている。
- 本日の妥結に至る交渉は、大変厳しいものとなった。交渉過程では、金庫の経営状況の認識共有、組織・職場の課題、組合員の声と様々な観点から意見交換を行っ

た。組合員の声では、特に、人員の不足感や若手職員の離職等の課題が多く挙げられていたと感じている。2024年度は、第9次中計の初年度であり、恒常的な取り組みの中で「人材の確保・育成・活用」を掲げ、金庫の中心課題の一つとして取り組んでいく予定である。「人材の確保」とともに「人材の定着」も同時に対応していく必要があり、この点は労使で協力し、働きやすく、働きがいのある職場を構築していく必要があると考えている。

- 最後に、先ほども述べた通り、2024年度は第9次中計の初年度となる。「生活応援の拡大」と「金融DXへの挑戦」を3ヵ年のテーマとして掲げ、労働界・関係団体との連携強化や、金融教育を通じた役割発揮、また、取引・手続きのデジタル移行、事務レスの促進等に取り組んでいくこととなる。今後も引き続き、金庫の取り組みに対する労組の協力をお願いし、所感とする。

#### 《杉山闘争委員長の発言概要》

- 2024春季生活闘争における私たちの要求は、物価上昇による可処分所得の減少への対応や、労働組合としての社会的役割の発揮、人財確保や職員・組合員のモチベーション向上等の観点に加えて、金庫の経営状況や取り巻く環境等を勘案したものであり、職員・組合員一人ひとりが、働きがいや、金庫の将来に自信と誇りを持ち、金庫の将来・未来を作るための春季生活闘争にしたいと考え、組み立てた。
- 金庫から示された回答は、要求内容から乖離はあるものの、現在の物価上昇による影響や、職員・組合員の努力・奮闘への評価、人財の確保・定着化への課題認識に加えて、労組の要求主旨を踏まえ、非常に厳しい経営状況にある中でも、真摯に検討を重ねた結果として、精一杯の回答が示されたものと受け止め、2024春季生活闘争を妥結收拾することを判断した。
- 労働組合や労働金庫の原点である「助け合い・支え合い」の精神を大切にしながら、近畿ろうきんの将来・未来に「自信と誇り」を持ち、事業・運動のさらなる拡大に前向きにチャレンジしていく組織風土づくりと、誰もが働きやすく、安心して働き続けられる職場づくりに、引き続き、全力で取り組んでいきたい。

単組は、①基本賃金の改善に関しては要求通りではないものの、回答内容は職場から集約した「組合員の『切実な思い』や『声』」を真摯に受け止めた結果と判断できたこと、②労使で立場の違いはあるものの、職員・組合員が金庫の将来・未来に希望を持ち、これからも近畿労金で働き続けたいと思える環境を整えていくことを確認しこと、等から基本合意を表明しました。

\*合意単組（5単組／3月19日17時40分現在）

沖縄、九州、九州（関連）、北海道、四国、四国（関連）、近畿

以上